



西眼科だより

第 28 巻 3 号

Nishi Eye Hospital

(季刊誌)

2026 年 9 月発行

編集責任者：倉橋美雪

医療法人仁志会 西眼科病院 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 4-14-26

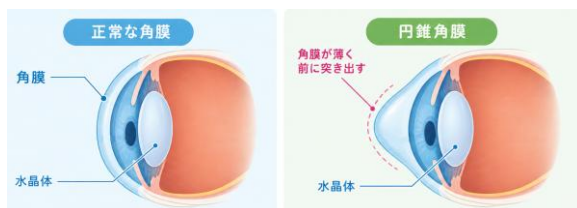
円錐角膜の治療

「円錐角膜だから、見え方は仕方がない」とあきらめる前に

進行を抑えること、見え方を補うこと。状態に合わせた治療と一緒に考えます

円錐角膜は、若年者において視力低下を来す代表的な疾患です。多くは思春期から青年期に発症し、徐々に角膜の中央部分が薄くなり、眼球の内側からの圧力に耐えきれず、角膜が前方へ円錐状に突出してきます。進行すると近視や不正乱視が強くなり、眼鏡だけでは十分な視力が得られないことがあります。早めに状態を把握し、「進行を抑える治療」と「見え方を補う治療」を考えることが大切です。

※自由診療(保険適用外)



進行を抑える治療

角膜クロスリンキング(CXL)

角膜にリボフラビン(ビタミン B2)を点眼した後、紫外線を照射することで、角膜のコラーゲン線維の結びつきを強め、角膜をより丈夫にする治療です。角膜の変形を起こしにくくすることで、**円錐角膜の進行を抑えることを目的**としています。

見え方を補う治療

シュプリーム

強膜レンズ(ビューノ[®] Supreme)

角膜(黒目)だけでなく、強膜(白目)まで覆う大きなハードコンタクトレンズです。角膜に直接触れないため、知覚が敏感な角膜への負担を抑え、角膜とレンズの間に涙液の層が保たれることで、角膜を保護し、良好な装用感が期待できます。**円錐角膜の方、角膜移植後の方、強い不正乱視のある方、重症ドライアイの方などに、有効な選択肢の一つとして注目されています。**

条件が合えば ICL(眼内コンタクトレンズ)という選択肢があります

ICL は、角膜を削らずに眼内にレンズを入れ、近視・遠視・乱視を矯正する手術です。ICL は円錐角膜そのものを治す手術ではありませんが、**円錐角膜の状態が安定しているなど、一定の条件を満たしていれば、ICL による視力矯正が可能な場合があります。**たとえば、円錐角膜が軽度で今後の進行が少ないと考えられる場合や、角膜クロスリンキングや強膜レンズなどによって円錐角膜の進行が抑えられ、状態が安定している場合には、ICL が選択肢の一つとなることがあります。まずは詳しい検査を行い、円錐角膜の状態を確認したうえで、ICL が適しているかを判断します。

こんなことでお困りの方は、ご相談ください。

- 眼鏡では十分に見えなくなってきた。
- 通常のハードコンタクトレンズが痛い、長時間つけられない。
- 円錐角膜が進行していると言われた。
- 角膜クロスリンキングについて相談したい。
- 角膜移植以外の視力補正の選択肢を知りたい。

ご相談
ください



角膜混濁の治療 PTK (エキシマレーザー治療的表層角膜切除術)

PTK (ピー・ティ・ケー) とは、エキシマレーザーを約 60 秒間照射し、混濁した角膜の表層をミクロン単位で平滑に削り取り、角膜の透明性を向上させ、視力の改善を目指す治療法です。

術後は、数日間、痛みや異物感を伴う場合があります。保護用のソフトコンタクトレンズを装用します。視力が安定するまでにおよそ数か月かかる場合が一般的です。主な対象疾患は、**顆粒状角膜ジストロフィー**、**帯状角膜変性症**、**角膜混濁**、**再発性上皮びらん**などです。

第 41 回 日本白内障屈折矯正手術学会(JSCRS)学術総会

6 月 東京



(写真左) 左から【敬称略】中野優治(日本医大)・水戸毅(金沢医大)・神谷和孝(昭和医大)・根岸一乃(慶應大)・佐々木洋(金沢医大)・**西悠太郎(西眼科病院)**・山口剛史(国際医療福祉大・市川)



(写真右) 左から【敬称略】永田万由美(女子医大)・足立/獨協医大)・鳥居秀成(慶應大)・**西悠太郎(西眼科病院)**・飯田嘉彦(北里大)・鶴飼祐輝(金沢医大)・前田直之(湖崎眼科)

西 悠太郎先生 (副院長・学術研究統括部長) が参加し、白内障手術後の「見え方」やプレミアム IOL (多焦点眼内レンズなど) について講演・発表を行いました。シンポジウムでは、「**脳アダプテーションと白内障術後視機能**」、教育セミナーでは、「**プレミアム IOL 手術における術前検査の重要性**」について発表しました。手術前に眼の状態を詳しく調べ、一人ひとりに適したレンズを選択することが大切です。当院では、これからも国内外の学会や研究活動を通じて最新の知識を取り入れ、患者さん一人ひとりの「見える喜び」につながる、より良い診療と院内教育に努めてまいります。

多焦点眼内レンズ説明会

予約不要

参加無料

西眼科病院 1F にて

多焦点眼内レンズ

【フェムトセカンドレーザーを用いた白内障手術】

自由診療(保険適用外)

まずは、知ることから、
気になることを聞いてみませんか？

こんな方におすすめ

- ✓ 白内障手術を検討している
- ✓ 眼鏡を減らしたい
- ✓ 多焦点眼内レンズを知りたい

今後の開催予定日：

10月1日(木)

11月5日(木)

12月3日(木)

2027年1月7日(木)

16:00～
(30 分間)

(遠方から近方まで)良好な視機能が得られる最新の多焦点眼内レンズについてわかりやすくご説明します。白内障手術やレンズ選びについて知りたい方は、この機会にご参加ください。ご家族・ご友人との参加も歓迎します。



特殊・専門外来

- **白内障/屈折矯正**(フェムトセカンドレーザーを用いた白内障手術・多焦点眼内レンズ・ICL(眼内コンタクトレンズ)・オルソケラトロジー・マイオピン点眼)
- **角膜**(角膜疾患全般・角膜移植(PKP/DSAEK/DMEK/DALK)・羊膜移植・円錐角膜・角膜クロスリンク・エキシマレーザー-PTK)
- **ぶどう膜炎**
- **網膜硝子体**(メディカルレチナ・サージカルレチナ)
- **緑内障**
- **涙道**(チュービング・DCR)
- **眼瞼・眼形成**(内反症・眼瞼下垂・翼状片)
- **ドライアイ**
- **ロービジョン**
- **斜弱眼筋麻痺**
- **小児眼科**(斜視・弱視等)

当院では、スタッフ全員で症例を共有し、患者さん一人ひとりに適した治療を考えています。